

## 科目概要

科目名	「地域企業(自治体)お題解決プログラム01組」(後学期)
授業内容 と方法	<p>国内における人口減少や高齢化等に伴い、これからの地域社会は大きく変化することが予想されます。その社会変化は「未だかつて日本が経験をしたことがない未曾有の時代」とも表現され、これからは企業や自治体もその未曾有の様々な課題に対応しながら存続や生き残りをかけていくことが求められます。企業においても、今後は益々地域社会との結びつきが求められるようになると予想されます。そのような中では当然のことながら、人材に求められる能力や資質も変わり、いかに変化の中で課題を見つけ、多様な人材を結びつけながら解決に向けた行動ができるかということが、これまで以上に求められています。</p> <p>この科目は、受講生が県内市町村(自治体)、団体、企業等が取り組んでいる課題解決を調査し、実際に課題解決に向けてグループで活動することで、これからの社会に求められる社会人基礎力を培い、キャリア観の醸成を図ることを目的とします。また、県内市町村が実際に取り組む課題解決のためのプロジェクトからテーマを選択し、ワーキンググループメンバー(インターン)として活動することで、これからの社会に求められる次世代を担うリーダーとして意識や課題発見力・課題解決力を育むことも狙いとしています。</p> <p>授業では、選択したプロジェクト(テーマ)に関わる自治体・企業・学校・コーディネーターなどの指導の下に活動する実践(フィールドワーク)と、課題解決等についての知識や情報を得るための座学を組み合わせて進め、最終的に課題解決に向けた提案を行います。</p> <p>本科目はシンクタンクでの地域課題解決やまちづくり等の調査研究の経験のある教員及びキャリア教育センターでの就職・インターンシップ指導や民間企業勤務の経験のある教員が授業を担当します。また、本科目の授業方法は、学生と社会人がグループでディスカッションやワーク(作業)に取り組むアクティブラーニングを基本とします。</p>
授業計画	<p><b>【注意】9/8 授業日程及び内容を一部変更しました</b>  <input type="checkbox"/>新型コロナウイルスへの感染リスクを避けるために、フィールドワークと最終報告会を除き遠隔授業(同時双方向型授業)で実施します。          毎週火曜日第5時限の遠隔授業を基本に、フィールドワークと最終発表会は土曜に実施する可能性があります。</p> <p>宜野湾市との連携による「学生がデザインするまちづくり」をテーマとします。</p> <p>第1回 10/ 6 (火) オリエンテーション、取り組みテーマの解説          第2回 10/13 (火) 宜野湾市職員による講演①企画政策、②観光農水          第3回 10/20 (火) 宜野湾市職員による講演③産業政策、④西普天間推進          第4回 10/27 (火) フィールドワークの事前準備          第5回 10/31 (土) フィールドワーク(地域における実践活動)①【午前の部】          第6回 10/31 (土) フィールドワーク(地域における実践活動)②【午後の部】          第7回 11/10 (火) 収集した情報の整理          第8回 11/17 (火) 地域課題の抽出          第9回 11/24 (火) 課題解決に向けた方向性等の検討①          第10回 12/ 1 (火) 課題解決に向けた方向性等の検討②          第11回 12/ 8 (火) 中間発表          第12回 12/15 (火) 中間発表の振り返り、解決に向けた方向性等の再検討          第13回 1/12 (火) 各課題の掘り下げ、問題点の整理          第14回 1/19 (火) 最終発表リハーサル          第15回 1/26 (火) 最終発表会 ※2/6(土)に振替開催の可能性あり</p> <p>※1課題当り4～5名のチーム編成を想定しています。          ※チームが取り組むテーマによっては、指定日時以外にも活動に取り組む可能性があります。</p>
その他	<p>本科目は「初級地域公共政策士」資格取得のための科目認証制度の対象科目(選択必修)です。          また、本科目は地域創生副専攻の授業科目&lt;地域創生理解&gt;です。          さらに、本学が取り組む「アクティブシンクタンク」の社会人向けの人材育成プログラムでもあるため、自治体、NPO法人や企業等社会人等にも公開授業として社会人にも提供します。</p>